

1000 人目の声 — 選ばれた町となるには —

特集「町を知る・聴く・考える」



寄居がずっと
気になるのは
故郷だからこそ。

聴

馬場俊英さん (東京都)

寄居町西部出身。シンガーソングライター
自分が子どもの頃は友達や近所の大人の
方達とも気軽に話ができて活気のある町
だったと思う。同級生や友達が今でも寄
居町にたくさんいて、皆さん頑張ってる
町を支えているのを感じています。現在は
町外で暮らしているけれど、故郷だから
こそ、この先もずっと寄居町が気になる
し、心にある。何か出来る事があれば
「応援」していきたい。

取材議員の **視点** 離れていても共に
ある心強さ

町を離れても、生まれ育った故郷と
そこに住む人を大切に思い続ける心
が、今もこれからも町を支える力に。

考



FMふっかちゃん
88.5 MHz

おと
劣るものなんて
何もない。
すべて最高！
もっとアピールを

聴

川島栄美子さん (深谷市)

寄居町桜沢出身。FMふっかちゃん パーソナリティ
ラジオのお仕事を通じて自分の住んでいる深谷地域や近隣市町のことに携わるよ
うになって、改めて寄居町の良さを知ること。私は、天沼陸橋から見える山並
みとその下に見える商店街のノスタルジックな景色が一番好き。帰るたびに「い
いなあ」と感じます。寄居町公式インスタグラムのセンスも最高。鉢形城跡や桜
など、たくさんある観光資源をもっともっとアピールしてほしいですね。

取材議員の **視点** 自信をもって発信して

川島さんから「町の自己評価が低すぎるのでは？」との指摘。「劣るものは何
もない、自分の住む町に自信をもって」の言葉に背中を押された。

考

聴

須崎真紀子さん (小鹿野町)

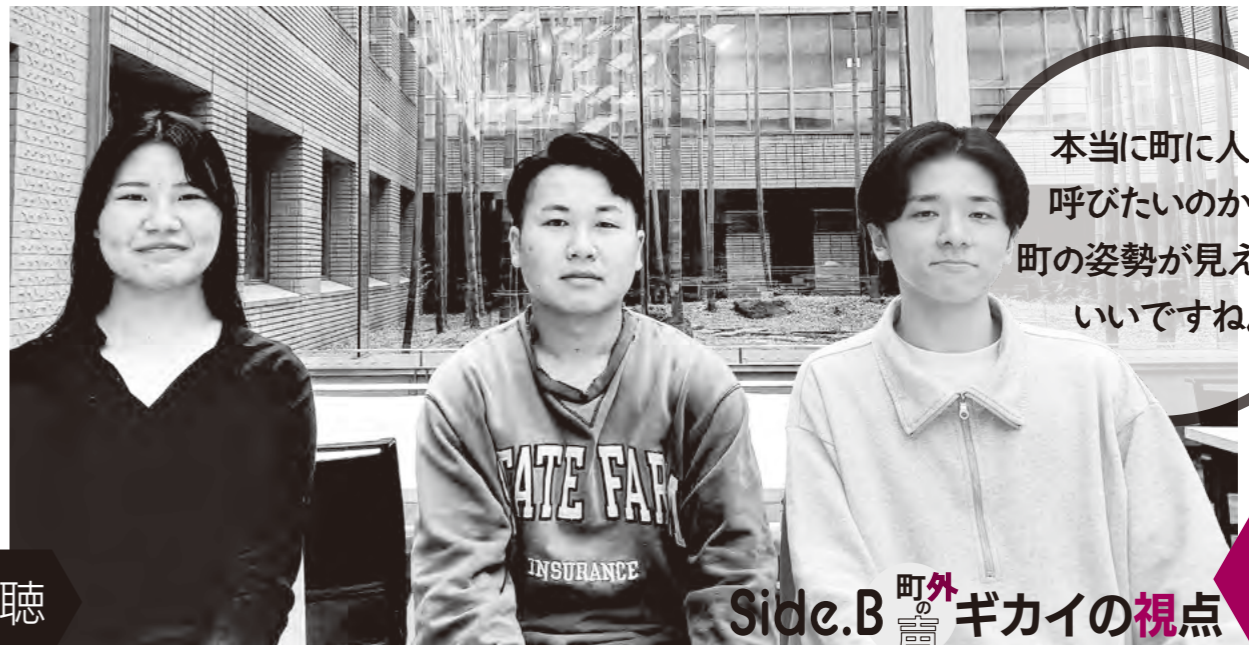
小鹿野町出身。「須崎旅館」女将
小鹿野町は人口約 9800 人の町ですが、
10 の宿泊施設があり、観光資源も、歴史・
食 (黒米・ジビエ・かぼす・椎茸・毘沙門
氷等)・氷柱・ダリア園・歌舞伎・バイク
の町等、さまざま。「地元愛」溢れる町
民同士の強いつながりを持って推進して
います。寄居にも鉢形城跡や蜜柑など歴史
や自然の観光資源がたくさんあります
よね。親戚が寄居にいたので身近に感
じる町ですが、宿泊施設が少ない印象。
発信力を高めるといいですね。

取材議員の **視点** 「地元愛」で強固なつながりを

自慢できる観光資源は寄居町にもたくさんあるはず！との温かい
エール。強力な「地元愛」で盛り上げる小鹿野町の横のつながり
の巧みに深く学ぶ。寄居町に足りないところかもしれない。

小鹿野町は
地元愛あふれる
町民同士の
つながりが
強いです。

考



本当に町に人を
呼びたいのか…
町の姿勢が見えると
いいですね。

聴

相原菜々美さん 渡邊一葉さん 齋藤翔太さん

大学の授業の一環で寄居町をフィールドに調査研究。専修大学4年生
研究結果を「地域魅力発信プロジェクト」として発表。大変良い
機会となりました。寄居町のいいところに「町民の温かさ」「郷土愛」
「豊かな自然」を感じたものの、町内周遊の移動手段が十分でない
ことに加え、調査中に「寄居町は 30 年遅れている」との声も。
「寄居の人たちは本当に人を呼びたいのか?」「この町をどうした
のか?」という町の姿勢が見えるといいなと思いました。

取材議員の **視点** 俯瞰して見る、新しい思考へ

いわゆる Z 世代からのまさに「凶星」の指摘。冷静にこの町
を研究し、俯瞰して見た彼らの言葉は重い。この世代に刺さ
る「新たな施策」「新しい思考」が必要だ。

考

Side.B 町外からの **視点** ギカイの視点

可能性を拓くカギは「マインドリセット」

外から見た寄居町は、ポテンシャルはあるが、それ
に気づいていない住民が多いのでは?との指摘
が多い。誰かが何かをしてくれるのを待つので
はなく、住んでいる我々が、この町への意識を変
えていくという、マインドリセット (新しい思考
への変化) が求められている。
自分たちの地域は自分たちで治める、住民自治の
意識の醸成。住んでいる町を自分の「お気に入り」
の町に。何よりも、町民の代表である議会の意識
改革こそが必要だ。

Next

次ページからは「一般質問という名の政策提議」特集A面「町内の声」はオモテ表紙から